

金沢市議会議長 福田太郎 様

申し入れ

2016年12月5日

日本共産党金沢市議員団

森尾嘉昭

広田美代

大桑初枝

本日12月議会の開会冒頭で、議長表明が行われました。

その内容は、政務活動費の不正使用および、情報公開請求の個人情報漏えい、傍聴者の個人情報の漏えいに係って、おわびと今後の取り組みを表明するものでした。

しかし、その発言内容はいずれも市民の批判に応えるものではありません。

政務活動費については、自らが疑惑の渦中におり、訂正削除では済まされないという市民の声に答えていません。

情報公開請求および傍聴者の個人情報漏えいの問題については、議会事務局だけの処分では済まされるものではありません。傍聴者の個人情報の漏えいについては、その情報を利用した副議長の責任は免れず、わが党は辞任を求めたところです（11月16日）。

よって、「議長自ら先頭に立って信頼回復に努める」と言うのならば、自らの責任を明確にすることこそ求められるものです。また、わが党が求めた政治資金をめぐる公開質問状（9月29日）に対しても、いまだ回答はありません。

再度、責任ある対応と検討を求めるものですし、個人情報漏えいについては、加賀市や野々市市議会が氏名・住所の記載をやめることを表明していることから、全国で問題が最初に発覚した本市としても、氏名・住所の記載をやめるようにすべきです。